最新基础BEST

できればムカつかずに生きたい

もう消費すら快楽じゃない彼女へ

ロードショーが150円だった頃

普及版 数の悪魔

馬鹿な男ほど愛おしい

9 芭蕉はどんな旅をしたのか

狂言じゃ、狂言じゃ!

とくべつな毎日

実用書の食べ方

あなたの想い出

癒される日々

憲法と戦争

文化としてのIT革命

強迫性障害からの脱出

英語で人生をひろげる本

日日談笑

数の悪魔

文庫本を狙え!

8 考える練習をしよう

がん患者学

3

7

10

12

13

14

15

16

17

18

19

20

公印は初登場!! №.67 2000.12.1~12.31

(学参を除く小社全書籍の売れ数)

00.12.15

00.10.25

00.12.20

00.11.30

00.12.8

00.8.25

New

9

New

New

		(学参を除く小社全書籍の売れ数)			3
	著者名	本体	配本	前月順	1
1	田口ランディ	1400円	00.10.11	1	-
	H.M.エンツェンスベルガー	- 1600円	00.8.23	2	
	坪内祐三	1900円	00.11.15	6	
	田口ランディ	1400円	00.5.31	A (-4)	
	柳原和子	2600円	00.7.7	3	
	田ロランディ	1600円	99.12.17	5	
	川本三郎	1900円	00.12.20	New	
	M.バーンズ	1650円	85.3月	13	
	金森敦子	4600円	00.10.11	8	
1.	茂山千之丞	1800円	00.11.6	10	Т
	メグホソキ	1800円	00.11.30	New	1
	小沢昭一	2100円	00.10.25	7	1
	岸本葉子	1600円	00.12.8	New	1
	H.M.エンツェンスベルガー	2840円	98 8 25	15	1

2100円

2200円

1600円

1800円

1800円

山崎正和、西垣通舊

-· KT

G.コワルスキ

大評判のロングセラー

売加続代いる

著者講演も各地で開催



4-7949-6440-4



「記述は説得的で、確かに世帯はこんながましていたのだ。3うと思かせる」読売「多の点で啓蒙され、たっる。いと楽しむとができた」(2001.1.21 毎日)

4-7949-6457-9

21世紀期待の作家といえば田ロランディ!

晶文社刊の工いセイ3点は増制に次心増制で表れ つづけています。「ほんら!関の受事を」紹介で「コンセント」(公外会)再び「いたれ、最新刊でるでる日記』(田草館)、 「縁切川神社」(幻察館)も好調! 目がはなせない!



3月集中に広告打ちお

3/1(木) 地方紙-春·京都新聞 3/4(日) 朝日新聞 * 多紙

3/11(日) 読売新聞 3段 1/8

ただは5刷大堆刷中!

品文社近刊案内2~3月

石が川幸雄『運・純根の男 ~古河市兵衛の生涯~』

H.M.エンゲンスバルガー「「愛」の悪魔」 島田政子で半走の記~母をおくるその日まで」「

小谷野敦『軟弱者の言い分』

沼野正子『今宵も歌無伎へまいます』 H.M.エンジェスベルガー『ロバートは歴史の天使』 長田弘『すべてきみにあてた手紙』(仮)

ミード・アフクロウの不思議な生活。(仮) 北原みのり『男の沽券はアンタジーである。(仮) ★新刊はハギーこか知らせ到着後お申し込みだださい★

延長いシマダめ 不定期連載 No.41

★川冷野敦『八かのための読書術』(女ま新書)と、佐野真―『だれが「本」を殺すのか」(元ジデン杯)を読んだ。いかゆる本の本を、立て続けに読んで、思った。それってお酒を飲みながら例えば、日本酒のウンチク話に酔ったり、ラーメン食べながら他店のラーメン話で、盛り上がれる野暮な連中と変わらないかもしれない、と。本来は(しかれてけるないヨ)、読書をおることで、未知の世界に上り、するのが楽しみなのに、メービウスの帯のように本の世界から、また本の世界に、堂々めかりをしている。でもないか、それにしても、『八かのための…』は過激である。"もてない男"とか"軟弱者"で、たり出し中の文芸批評家ではよね、と思って 幻

覧と読み進むと「もし戦」が必要 うきなら、いつでも加しる」著者の姿勢 くきにたしるぐだろう、たぶん。一方の 『たれが「本」・・・」は前者『東電のし

殺人事件」同様に、これでもかこれでもかと、執 物にかり幅広く(足で)取材している。頭が下がる。せて、ラーメンだが、秋葉原の電気行に最近オープ。した一方を紹介する。とうしても近場が、多くなり、作野真一とは大達いだ。

天然素材にこだわり、しかも何を思ったか肠骨とフォンドボーを合体させてしまったのだ。オリジナルしたのである。フランス料理のラチフ然とした料理人のオープンキッチンといい、田舎風の藍染めの衣装を纏ったフロアレディ(元気ー杯の)といい、店構えのログルウス風といい、東にオリジナルなのである。平地飼いの豚と、漁川のダシに「オーゼニックの分片にたっぷりの野菜を

₹ 長時間コトコト煮込んだ"フォント"ボーを加 えることによって、豚骨のクセを抑えたマイ ルドなスープ」がやみつきになる。麺は、 中太。ややちちれのシコシコ麺で私の好み なった。具は普通サイズの2倍はあろうか というチャーライー、これがまた美味い。おとは メンマにネギ。一このフォンドボーらーかん は780円。店名は〈典座〉と書いてTEN 区のと読ませる。 場所は、秋葉原の 電気行中央通りき、御徒町方面に行き 「T-ZONE」の向かい側「田中無線電気 ヒル、B1にある。ラーメン屋には至らしく、 デザート(杏仁豆腐)をメニュウに置いたり スーパーオーガニック典座らーめん 980円とかい、かけより"車欠33 % 者のラーメン尼いなのかも(

しれない。(営業部・島田孝久)